

令和2年度 第3回中区協議会

# 会議資料

## 【確認事項】

- ・ 令和3年度予算に向けての事業提案調査について

令和2年7月29日開催

中区協議会

令和2年7月1日

中区協議会委員 様

浜松市中区長 高橋 直美

令和3年度予算に向けての事業提案調査について

1 内 容

市では、翌年度の予算編成に向けて、区協議会から意見・要望等を伺い、本庁・区役所間の予算・政策等に係る情報共有及び協議調整を行う制度として、「区重点提案事業制度」を実施しています。

この制度は、本庁の事業所管課に対し、方向性（提案事業に対する考え方、予算要求の有無等）について回答を求め、必要に応じて予算への反映を求めて行くものです。事業提案は、10事業程度を採用していきます。

つきましては、区協議会委員の皆さまの選出母体等での活動や、日ごろ生活を踏まえて事業提案をしていただくものです。

2 重点提案事業

区協議会の委員から頂いた事業提案と区役所内各課からの事業提案を取りまとめのうえ、10事業程度を本庁所管課に対し区重点提案事業として提出していきます。

3 提出方法

「事業提案調査票」に事業提案を記載していただき、8月7日（金）までに F A XまたはE-mailにて中区・区振興課 谷野までご提出をお願いします。

（7月29日の中区協議会時にご持参いただいても構いません。）

※事業提案がない場合は、「事業提案調査票」の提出は不要です。

4 その他

7月29日の区協議会にて、区重点提案事業（「事業提案調査票」の提出）について、改めてご説明させていただきますが、「事業提案調査票」の提出期限が短いため、区協議会開催前に選出母体等の会合ありましたら、事前の意見聴取をお願いします。

なお、不明な点等ありましたら、担当までご連絡ください。

(担当)

中区区振興課 自治グループ 谷野・山下

住所：浜松市中区元城町103-2

電話：053-457-2210

FAX：053-457-2776

E-mail:c-shinko@city.hamamatsu.shizuoka.jp



# 事業提案調査票

委員氏名： \_\_\_\_\_

事業提案名	
事業提案内容 (具体的にご記入ください)	

【提出期限：8月7日（金）】

送信先：中区役所 区振興課（谷野・山下）

F A X : 4 5 7 - 2 7 7 6 E-mail:c-shinko@city.hamamatsu.shizuoka.jp



## (参考資料)

## 令和2年度予算編成に対する区重点提案事業

No.	事業	区からの提案	区提案課	本庁所管課	所管課からの回答（予算要求の方向性と結果）
1	児童館ガラス飛散防止フィルム貼付工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中區で管理する児童館2館（北星児童館・江西児童館）のガラス（窓・食器棚・ガラス戸等）には飛散防止の処置がされていない。</li> <li>・災害・事故時に飛散したガラス片は、児童・職員の怪我の原因及び避難の妨げになる。</li> <li>・安全確保のため、児童館のガラスに飛散防止フィルムの貼付けを施工するもの。</li> </ul>	中區・社会福祉課	人権啓発センター 子育て支援課	<p>&lt;予算要求の方向性&gt; 令和2年度当初予算で要求する。</p> <p>&lt;予算要求の結果&gt; 令和2年度当初予算額：1,111千円</p>
2	福祉館及び児童館出入口門扉設置工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年6月、江西会館及び江西児童館敷地内において、夜間に不審者が侵入し、警察に通報した件があった。</li> <li>・江西会館及び江西児童館出入口には侵入防止ポールがあるが、故障していて機能していない。</li> <li>・北星会館及び北星児童館の出入口2カ所のうち1カ所は常時開放状態にある。</li> <li>・両施設とも夜間や休館日に車両の乗り入れが可能な状態にある。</li> <li>・不審者の侵入防止対策のため、開閉が容易なアコーディオン状の門扉を設置するもの。</li> </ul>	中區・社会福祉課	人権啓発センター 子育て支援課	<p>&lt;予算要求の方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・江西児童館においては、本年6月、夜間に不審者が侵入し、警察から門扉等の出入口を閉める設備が必要との助言を受けたことから、迅速な対応が必要なため、来年度予算においてアコーディオン門扉設置工事について人権啓発センターが予算要求していく。</li> <li>・北星会館及び北星児童館においては周囲の環境から侵入防止対策の緊急性を要していないため予算要求しない。</li> </ul> <p>&lt;予算要求の結果&gt; 令和2年度当初予算額：0円</p>
3	クリエート浜松・ホール移動式ステージ(備品)更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホールの備品である移動ステージ(設置後31年経過)は、経年劣化に加え長年の使用による天板の損傷がみられる。</li> <li>・ホールは使用率の高い施設であり、事故の恐れやホール運営に支障をきたす可能性があるため、問題が発生する前に早急に対策するもの。</li> </ul>	中區・まちづくり推進課	創造都市・文化振興課	<p>&lt;予算要求の方向性&gt; 令和2年度当初予算で要求する。</p> <p>&lt;予算要求の結果&gt; 令和2年度当初予算額：7,676千円</p>
4	クリエート浜松・空調機自動制御装置更新工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空調機は、アナログ式制御であるため、施設利用者・施設管理者ともに不便な状況であり、経年劣化による故障(制御不能など)で貸館業務に支障をきたす可能性もある。</li> <li>・空調機自動制御装置の更新(デジタル化)を行い、問題が発生する前に早急に対策する必要がある。</li> </ul>	中區・まちづくり推進課	創造都市・文化振興課	<p>&lt;予算要求の方向性&gt; 令和2年度当初予算で要求する。</p> <p>&lt;予算要求の結果&gt; 令和2年度当初予算額：11,772千円</p>

No.	事業	区からの提案	区提案課	本庁所管課	所管課からの回答（予算要求の方向性と結果）
5	県居協働センター・ホール床改修工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習及び地域コミュニティの拠点施設として、地域住民に広く利用されている県居協働センターのホール（築29年）は、地域活動団体のフォークダンスや太極拳、児童の空手などの団体が利用している。</li> <li>・ホール床面板が剥がれたり、浮いて凹凸が生じるなど利用者が足を引っ掛けて転ぶなど危険な状況となっている。</li> <li>・ホール床面の板の剥がれを応急対応するため、ボンド等で貼付けたり養生テープで補強していたが、利用者から危険性や衛生面、見栄えについて指摘されている。</li> <li>・児童の利用回数が増え危険性が増しており、利用者からの改修要望の声が多いため、利用者の安全面から床面の改修を施工するもの。</li> </ul>	中区・まちづくり推進課	市民協働・地域政策課	<p>&lt;予算要求の方向性&gt; 令和2年度当初予算で要求する。</p> <p>&lt;予算要求の結果&gt; 令和2年度当初予算額：2,486千円</p>
6	浜松市武道館・畳の購入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・武道館道場D面の畳が購入から11年経過し、破れて隙間ができていくものが多くなっている。</li> <li>・利用者が破れた隙間に足を引っかける恐れがあり、転倒や指の骨折、爪の剥離等の怪我につながるため、利用者や指定管理者から早急な更新を求められている。</li> <li>・また、一部のみの更新では、畳のサイズ・色が合わず、利用者にも不便をかけることから、D面分一式（全面の1/4）の更新を必要とする。</li> </ul>	中区・まちづくり推進課	スポーツ振興課	<p>&lt;予算要求の方向性&gt; 令和元年度予算にて対応済み。</p> <p>&lt;予算要求の結果&gt; 令和2年度当初予算額：0円</p>
7	西部協働センター・ホール昇降ステージ撤去・新設工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習及び地域コミュニティの拠点施設として、地域住民に広く利用されている西部協働センターの電動昇降ステージは、地域イベントの芸能発表や演芸大会、講演会などで利用されてきた。</li> <li>・昇降ステージは、昭和53年の建設から41年経過し、老朽化により稼働できなくなった。油圧ジャッキからオイル漏れが生じ、機種が古く修繕ができないため、撤去・新設する。</li> <li>・電動昇降ステージが故障したため、平場で見ている観覧者から見えにくいなどの意見や修繕の要望があるため、平成31年度当初予算要求を行ったが、予算措置されなかった。</li> <li>・令和元年7月2日付で城北地区自治連合会及び城西地区シニアクラブ連合会、西部協働センター運営委員会からホール電動昇降ステージの修繕に関する要望書が提出された。</li> </ul>	中区・まちづくり推進課	市民協働・地域政策課	<p>&lt;予算要求の方向性&gt; 令和2年度当初予算で要求する。</p> <p>&lt;予算要求の結果&gt; 令和2年度当初予算額：29,317千円 設計・工事監理委託、工事費を含めた額。</p>

No.	事業	区からの提案	区提案課	本庁所管課	所管課からの回答（予算要求の方向性と結果）
8	浜松市内のWi-Fi環境整備について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浜松市内は、公共施設でWi-Fiが使用できないところが多い。使用できたとしても、IDが変わるたびに途切れてしまうため、不便を感じている。</li> <li>・HAMAMATSU FREE Wi-Fiがあるが、飲食店や企業内のものが多いため、公共施設も含めもっと広い範囲でやらなければ意味がないのではないか。</li> <li>・ラグビーW杯やオリンピックのキャンプ地となり、たくさんの外国人が浜松を訪れるため、便利な翻訳アプリををを使いたくても環境が整備されていない。</li> </ul>	区振興課 (委員提案)	観光・シティ プロモーション課	<p><b>&lt;予算要求の方向性&gt;</b> インバウンドを含む観光客の利便性向上を目的とした新たなWi-Fi環境整備は、観光目的施設又は現に外国人観光客の来訪が多い施設を対象とする。</p> <p><b>&lt;予算要求の結果&gt;</b> 令和2年度当初予算額：0円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光施設ではない公共施設へ外国人観光客が来訪する理由が不明確</li> <li>・主な受益者として施設利用者が想定される場合は、施設利用者の利便性向上施策として施設管理者が予算措置することが妥当</li> <li>・Wi-FiルーターレンタルやSIM購入など通信手段の確保が容易になったことから、外国人観光客の無料Wi-Fi要望が低減傾向（H27:56.3%→H28:52.9%→H29:46.8%）にある</li> </ul> <p><b>&lt;その他&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インバウンド対象となる観光施設（9施設11か所）にWi-Fiを設置済</li> <li>・（公財）浜松観光コンベンションビューロー（現浜松・浜名湖ツーリズムビューロー）が平成27年度からの3年間「浜名湖観光圏無料無線LAN整備事業費補助金」を用意し、域内観光・飲食・商業施設のWi-Fi環境整備を支援した（補助金交付：42件）</li> </ul>
9	助信町交差点から上島駅の交通事故対策について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年3月に電車通り、柳通り交差点から上島駅までの4車線道が完成した。</li> <li>・この交差点は、交通量が多い場所であることと、道路が整備されたためスピードを出して走行する車両が多数見受けられる。</li> <li>・交差点を右折する車両は、正面にある遠州鉄道の高架の柱により直進車が見えづらいため、今後、出合い頭の事故の発生が懸念される。</li> </ul>	区振興課 (委員提案)	道路企画課	<p><b>&lt;予算要求の方向性&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交差点形状を確認の上、警察、交安委員会と調整し必要な対策を検討していく。</li> <li>・現在実施している合同現地点検において要対策箇所として選定された交差点における歩行者の安全対策を検討する。</li> <li>・右折車と対向直進車の事故が多く発生している箇所は、交安委員会が信号機のセパレート化の検討を行う。信号改良の必要性について今後も報告していく。</li> </ul> <p><b>&lt;予算要求の結果&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各関係機関と連携を図り、対応していく。</li> </ul>
10	雨水タンク設置による防災対策の効果検証について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年、集中的な豪雨により、道路の冠水や川の洪水警報が多く発令されている。</li> <li>・浜松市として、浸水や冠水しやすいエリアにて、「雨水タンク」の設置することで、防災対策を進めていく。</li> </ul>	区振興課 (委員提案)	河川課	<p><b>&lt;予算要求の方向性&gt;</b> 雨水貯留タンクについては、市民が各家庭に雨水貯留することで水害への危機意識の向上も考えられるが、1戸あたりの貯留容量は少量であること、降雨の前に空になるかは、市民それぞれの管理に委ねられること、定量的な効果検証が困難であることの課題があげられる。したがって、雨水貯留タンクの無料配布又は補助金制度の新設は困難であると考えられる。</p> <p><b>&lt;予算要求の結果&gt;</b> 令和2年度当初予算額：0円</p>